

横須賀市議会議員

長谷川昇 市政報告



はせ 長谷川昇
どん はせがわ のぼる

2015年4月～横須賀市議会議員二期目
所属:環境整備常任委員会・がん対策検討協議会 所属会派:「研政」
住所:〒240-0101 横須賀市長坂3-3-11
E-Mail:hasedon2@gmail.com
連絡先:080-4383-1633
はせどん HP QRコード
<http://hasedonInfo/>



2015～2018 市政報告

「人と人をつなぐこと」

よりよい横須賀をつくるために この街の自然・歴史・文化、この街のお年寄り・若者 そしてこの街のこどもたちの

「未来」へ

この市政報告は2015～2018にかけての長谷川昇の活動報告として、「くらし」「教育」「地域」「平和」の4つの柱を軸に報告いたします



1. <5> LIFE

ともに生きる社会をつくりたい

- ◆高齢者や障害のある方も共に安心して暮らせる街をめざしてとりくみます。
- ◆出産・育児などの子育ての課題や、介護・地域医療の課題、医療の充実にとりくみます。
- ◆若い人の非正規雇用の問題、地元産業の育成と雇用の創出にとりくみます。

【所感】 地域のお年寄りから、介護や医療に関しての様々なご意見や困りごとを聞かせていただきます。まだまだ、お年寄りや障害のある方たちにやさしい街になっていない現状があります。様々な市民の声に耳を傾けながら議会の中で意見反映していきます。

★議会内外での質問・意見・提言等(◎本会議 ○委員会 ◇議会外)

- ◎市民病院の小児科の入院廃止後、市民病院の小児科入院の再開について。(2015～)
→市は小児科医師の確保のために要請。/2018年～病児・病後児保育施設を市民病院に新設を検討。
- ◇大楠幼稚園の廃園提案に対し、住民とともに、署名の取り組みに関わる。(2016.1)
→署名等により、2018年3月の廃園については撤回。子どもの数も助産しながら、当面の延期となりました。
- ◎仮称・中央子ども園の「定期借地」の撤回、他の適地で開園を提言した。(2016.12)
→仮称・中央子ども園については、ポートマーケットの駐車場内に建設することが提案されました。
- 全児童を対象とした無償の放課後児童対策の充実を求める。(2017.2)
→2017年度から荻野小学校で放課後児童教室が試行され、市内小学校に拡大していく方向性も。
- 産業交流プラザの廃止と今後の利用計画について、提案の撤回を求めました。(2017.2)
→FM(ファシリティマネジメント)検討会議の中で、改めて検討していくことになっています。

■「みんなで楽しむコンサート2018」■

障がいをもつ子どもたちも、一緒に参加できるコンサートを企画しています。「小さい子どもも高齢者の方も、障がいのある方も、たくさんの垣根を越えてみんなで音楽を楽しんでいただくコンサート」です。

日時: 8月10日午後2時～ 会場: 横須賀市文化会館大ホール
ソプラノ・松永知史さん、ヴァイオリン・三浦章弘さん、ピアノ・東誠三さん。
チケット 1000円。小学生・障害者手帳等お持ちの方及び引率者は無料(要整理券)横須賀市文化会館(046-823-2950)・はまゆう会館・オクターヴ等で発売中。



2. 教育 Education

ゆたかな教育のための環境づくり

- ◆子どもから高齢者まで、一人ひとりの学びを保障するための条件整備等につとめます。
- ◆「教師が子どもと向き合う時間を確保する」ために、定数の改善や学校現場の多忙化の解消にむけ、とりくみます。
- ◆格差社会の進行による「子どもの貧困」が深刻です。学ぶ機会を保障するための教育環境の整備にとりくみます。

【所感】 2017年6月「中学校教員の6割が過労死レベル」という国の調査に続き、横須賀市の調査でも同様な結果が出ました。今、学校現場の多忙化は極限の状況になっています。教師の「子どもと向き合う時間の確保」は、子どもたちの個々の課題に対応するために必要です。教職員定数の改善を国に求めるとともに、教師の仕事量の削減等様々な観点から県・市教育委員会に対して、抜本的な対策や改善を求める必要があります。

★議会内外での質問・意見・提言等(◎本会議 ○委員会 ◇議会外)

- ◎○学校選択制度の見直しに向けた提言(2015～)
→2020年から学校選択制度は廃止し、新しいシステムに移行します。
- ◎教育予算の拡充、教職員定数の改善に関する意見書提出。(2015～2018)
- ◎○給食費の徴収に「公会計」導入、「給食条例」の提案。(2017.2)
→2018年4月から給食費の徴収は、教師の負担軽減の観点で「公会計」に移行。
- ◎小中学校の3年生 35人学級の実現、条例の制定を提案。(2016・2017.6)
→本来は国がすべきところだが、横須賀市の予算で3年生に追加教員を配置。
- ◎教職員の勤務時間の調査から、本市での調査の実施を求める。(2017.6)
- ◎教職員の多忙化の改善、学校現場に弁護士を配置を要望。(2018.2)



教職員の多忙化は緊急課題!

■教職員定数改善・教育予算増額についての意見書が採択されました■

代表質問の中で、学校現場の多忙化に対しての認識を質し、市及び教育委員会として、緊急課題として取り組むことを確認しました。さらに、対応策の実施について早急に手立てを講ずることを強く要請しました。また、6月議会では、教職員定数改善・教育予算拡充に関する請願は、国に対しての意見書を提出について、横須賀市議会で、全会一致で採択されました。

■高校生版議会報告会で、若者と意見交換しました■

横須賀市議会は、高校生を対象とした議会報告会を議場及び委員会室を使って開催しました。今年は市内高校4校(横須賀総合・三浦学苑・横須賀明光・緑ヶ丘女子)から23名の高校生と、サポート役として関東学院の学生が参加してくれました。第一部では、横須賀市の議会の仕組み、横須賀市の課題を中心に説明し、第二部では議員がコーディネータとなってそれぞれの高校生の問題意識を元に、ディスカッションをしました。



高校生の熱心なディスカッション

3. 地域 Areas

ともに生き、ともに学びあう地域づくり

- ◆三浦半島の自然を守り、環境問題や地域の課題にとりくみます。
- ◆横須賀の文化遺産・歴史遺産を保護するとともに、新たな文化の発信にとりくみます。
- ◆地域に根ざした歴史、文化の学習の場づくりをはかり、地域コミュニティの拡充をはかります。

【所感】 三浦半島は、海・山に恵まれ、自然豊かな素晴らしい環境があります。それを維持し発展していくことは大切なことです。この間、NPO法人とともに、三浦半島の自然環境の保全にとりくんできました。また、芦名浄楽寺の運慶仏の国宝化を含むとりくみに観光協会と連携しすすめています。

★議会内外での質問・意見・提言等(◎本会議 ○委員会◇議会外)

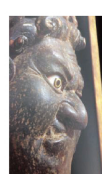
- ◇バス路線の新設について、連合町内会と要請書を副市長・京急に提出。(2015.8～)
- ◎地域におけるコミュニティバスの実現について。(2015.12～)(2018.2)
- 芦名・浄楽寺の運慶仏の国宝化など地域のとりくみに市の支援を求める。(2017)
- ◇NPO 法人と共に、「扇子畑」など自然に親しみ学べる場を開設しました。(2016～)
- ◎萩谷海岸の水上オートバイについて、「海浜ルール」や条例化を要請。(2017.6～)
- ◇地域コミュニティの場として※「アトリエMOMO」を開設しました。(2018.6～)

■三浦半島の自然を守り、食のとりくみを続けています■

～扇子畑の麦が収穫の時期を迎えています～ facebook 2018.5.31



横須賀市林にある「扇子畑」の麦が色づいてきました。天白さん達の農業生産法人に耕作をお願いしてちょうど一年。一年間でこの畑はひまわり畑になったり、蕎麦(そば)畑になったり、季節によって色彩を変え、風がその上を通り過ぎてきました。麦の穂を一つつまんでみました。芳ばしい香りがします。麦の収穫の季節です。この麦から、子どもたちと一緒にパンやうどんを作る予定です。



浄楽寺の運慶仏・不動明王

■西地区の交通課題と対策をコミュニティバスの協議会で検討します■

西地区の交通事情は、鉄道が施設されていないことや、バスの接続が困難なこと等課題がたくさんあります。とりわけ高齢化の進む地域であって、免許証を返納する方も多いことから、交通網の整備が求められています。横須賀市は平成30年度、長井・武山・大楠の3地区で、コミュニティバスの導入についての検討をすすめるとしています。地域ニーズにあった交通手段のありかたを今後も地域の利便性を高めるためにとりくみをすすめます。

4. 平和 Peace

安全と安心は生活の礎(いしずえ)

- ◆日本国憲法の理念を生かし、核兵器の廃絶にむけてとりくみます。
- ◆原子力空母の母港に起因する問題にとりくみます。市民の安全安心が保障されるよう、原子力発電所の事故に起因する問題にとりくみます。
- ◆東日本大震災から学び、自然災害に対して、市民のいのちを守る観点からすすめます。

【所感】 日本国憲法が危機に直面しています。戦後このかた様々な評価はありますが、平和を守ってきたのはこの憲法のおかげであると自負する必要があります。現代の新たな権利が発生している中で人権を拡大する観点での「加憲」の考え方は、否定するものではありませんが、憲法の改正を進めることで、憲法の基本原則がねじ曲げられることがあってはならないと考えます。

★議会内外での質問・意見・提言等(◎本会議 ○委員会◇議会外)

- ◎平和首長会議に参加するよう市長に要請。横須賀市は参加しました。(2016.4)
- ◎原子力防災に関して、米軍基地従業員の避難訓練実施を求めました。(2016.11)
- ◎市議会がイージス艦の事故に対して意見書を決議しました。(2017.12)

■イージス艦の事故に対して、意見書を決議しました■

2017年1月アンティタム座礁事故、6月フィッツジェラルド衝突事故、8月ジョンスマケイン衝突事故その他、イージス艦の事故が多発し、乗組員にも犠牲者が出ました。市議会としては市民生活の安全確保と再発防止の観点から、安全管理の徹底を求める意見書を全会一致で採択しました。



原子力空母は大丈夫?!

長谷川昇 プロフィール 1962年6月30日生まれ

- ・横須賀市長坂で生まれ育つ。大楠小学校・大楠中学校卒業。
- ・神奈川県立横須賀高校卒業(陸上部所属)
- ・明治大学政治経済学部政治学科卒業
- ・1986～1991年 三浦学苑社会科講師(陸上部・写真部顧問)
- ・1991～1998年 横須賀市立鶴居中学校教諭(男子バレー部顧問)
- ・1998～2010年 横須賀市立池上中学校教諭(ハンドボール部・陸上部顧問)
- ・2007～2010年 三浦半島地区教職員組合書記長(2003～執行委員)
- ・2011年4月～ 統一地方選挙において、横須賀市議会議員初当選。
- ・2015年4月～ 統一地方選挙において、横須賀市議会議員二期目当選。会派「研政」



- 【議会等での主な活動】
- ◆2015・教育福祉常任委員会・議事運営委員会 ◆2016・教育福祉常任委員会副委員長・100条委員会
- ◆2017・生活環境常任委員会・広報広聴委員会 ◆2018・都市整備常任委員会・がん対策検討協議会

※教育相談・学習支援のコミュニティ・スペースとして「アトリエMOMO」ができました。

※教職員OBが主体となって夏季の学習会等を企画中です。併せて学生スタッフなども募集中です。

〒238-0012 横須賀市安浦町2-33-1 ザ・タワーハウス102

TEL 046-854-9528 FAX 046-854-9529

[京急東大駅下車5分/安浦二丁目バス停前] 横須賀三浦教育会館から徒歩3分



ミヒヤエル・エンデル著「モモ」